

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名	平成28年度第1回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成28年6月29日（水）				13時30分	
					15時10分	
開 催 場 所	嵐山町役場 302・303会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書の交付 3 あいさつ 4 委員紹介、事務局紹介 5 議 題 (1) 会長及び会長代理の選出について (2) 会議録の署名人の任命について (3) 第2次男女共同参画プランの検証について (4) 今後のスケジュール（案）について (5) 第3次嵐山町男女共同参画プラン策定方針（案）について (6) 第3次嵐山町男女共同参画プラン策定に伴うアンケート（案）について (7) その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	山中 馨	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	出席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	大久保 勉	欠席	委 員		
	委 員	阿部 典子	出席	委 員		
その他出席者	青木課長			松浦主査		
事 務 局	伊藤副課長			江黒主事		
顛末（要点筆記）						
1 開 会	青木地域支援課長					
2 任命書の交付	（岩澤町長） ・代表で宮本委員へ交付					

3 あいさつ	<p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画は、国が力を入れている一億総活躍社会の実現においても重要な施策である。今回町の計画が新たなものとなる。皆様の貴重なお知恵をお借りしたい。
4 委員紹介、事務局紹介	<ul style="list-style-type: none"> 各委員より自己紹介を行った 及び事務局 自己紹介
<p>5 議 題</p> <p>(1) 会長及び会長代理の選出について</p> <p>(2) 会議録の署名人の任命について</p> <p>(3) 第2次男女共同参画プランの検証について</p>	<p>会長が決まるまで進行を行う。</p> <p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会長の選出について意見を求める。(意見なし) 意見がないようなら、事務局にこれまでの経緯等を説明してもらいたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次男女共同参画プラン策定の際は寺山サキ子委員に会長をお願いしていた。事務局としては引き続き寺山委員をお願いしたい。 <p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他に意見がありますか。なければ寺山委員をお願いしたい。(意見無しで承認、寺山サキ子委員が会長に選出) 会長代理は寺山会長よりご指名願いたい。 <p>(寺山会長の指名により、宮本紀子委員が会長代理に選出)</p> <p>(寺山会長が議長となる。)</p> <p>(岩澤町長公務により欠席)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、会議録署名委員については、名簿順で藤野哲男委員、松本洋治委員をお願いしたい旨を説明。了承された。 <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、第2次男女共同参画プランについて、主に数値結果等について説明した。 <p>(藤野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性消防団員はどのような役割を務めるのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで嵐山町に女性消防団員はいなかったが、今年度から設置しました。女性消防団員の定員を7名とし募集をかけたところ6名の入団があり、すでに活動を始めているようです。男性と同じ活動ではなく、役割を限定して啓発等の活動を行っています。所属は、分署ではなく本部付けとなっているようです。 <p>(須永委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちも含め女性消防団員の位置付けがはっきりしていない。今後活動してみて、安定してくると思う。 <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな活動をしているのか、町民の目に触れていない。研修に行っている話しは聞いている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在は研修などに行って、これから本格的に活動していくと思われます。

(松本委員)

- ・ 6名の方の中で、町の職員はいるのか。仕事をしているのか。年代はどのくらいか。

(事務局)

- ・ 町の職員はいません。団員は20代30代が多いようです。男性団員と同じく仕事を持ちながら活動しているようです。

(寺山会長)

- ・ 他の市町村だと年齢が高い方もいるが、嵐山町は比較的若い年代が多い。ぜひ活躍してもらいたいと思う。

(松本委員)

- ・ 役場職員の女性の登用について、29.5%というのは、職員の女性割合なのか？

(事務局)

- ・ 審議会等の委員の女性の割合です。
- ・ 女性職員の管理職の割合についてだが、職員の世代の構成に偏りが出てきているのが現状です。あと数年すれば女性の課長も任命されると思われます。

(松本委員)

- ・ 管理職になるためには、希望を出すのか。特に女性職員においては、希望者が少ないのか。

(事務局)

- ・ 現在は試験制度が採用されています。希望する人が少ないということはないです。試験の要件に勤続年数などがありますので、その影響があると考えています。

(寺山会長)

- ・ 女性課長がいなくなるというのは町長が何年も前から言っていたことで、とうとう一人もいなくなってしまった。女性課長が増えることを期待したい。

(松本委員)

- ・ 35%目標というのは何か。

(事務局)

- ・ 審議会のうち、女性委員の割合の目標です。

(山中委員)

- ・ 埼玉県で特定事業主行動計画を策定したが、嵐山町の現状はどうか。課長職や管理職の割合の目標値を立てる必要があると思われるが。

(事務局)

- ・ 嵐山町においても特定事業主行動計画を4月1日に策定しました。
- ・ 平成32年度までに1名以上女性課長を登用することを目標に掲げています。現在女性副課長が5名いるので、達成できると思われます。全体から見た女性職員の割合は4月1日現在33%です。若い世代の女性割合が増えているので、全体の割合も増えていくと思います。
- ・ 職員構成のうち、年代ごとの男女の構成に偏りがあるのが実情です。今後、女性職員の割合は増えてくると思います。

(引間委員)

- ・ 全体的な指標についての質問だが、参加者何名など個別の数値的結果だけでなく、参加した結果何が改善されたか、アウトプット指標

からアウトカム指標のように目に見えた成果指標が必要だと思う。

- ・参加した人数だけでなく、参加したことでどのような結果が出たか、その後の検証を行うべきではないか。
- ・地域における男女共同参画推進ということで、地域の自治会長などの女性の比率も次の計画には加えていけたらいいと思う。

(事務局)

- ・具体的な指標は第2次プランではできていないので、今後考えていきたいと思います。自治会における女性区長は、現在1名もいません。
- ・自治防災組織のリーダー養成講座の女性の参加者は0人でした。女性の果たす大きな役割を考え、リーダーとして女性の方に前面に出ていただければと考えています。

(宮本会長代理)

- ・委員を依頼する際は、事前に、女性を何名お願いしたいなど、数値を指定して依頼したほうがいいのではないか。

(寺山会長)

- ・現在の防災会の組織の中では、女性がなかなか入っていけない。女性が女性の立場として入れる役割が必要なのではないか。

(事務局)

- ・ある地域の防災訓練に地域の看護師さんに参加していただいて訓練をしました。防災組織には救護班というものがあり、そこには女性が参加しやすいようです。

(宮本会長代理)

- ・隣組長として名前が出ているのは男性だが、実際に活動しているのは女性という場合も多い。女性が参加できる枠組みをしっかり作っていくことで、女性の割合が増える可能性が上がる。また、町の行事の中で、男女共同参画をメインにした事業がパネル展示しかない。女性の意識開発を目指し、「男女共同参画」の名前を使った事業をいれてほしいと思う。

(4) 今後のスケジュール(案)について

- ・今後のスケジュール(案)について事務局より説明

(事務局)

- ・第2回の審議会には、第3プランの課題等の粗案を出させていただくと思うので、協議願いたい。

(意見なし)

(5) 第3次嵐山町男女共同参画プラン策定方針(案)について

- ・第3次男女共同参画プラン策定方針(案)について事務局より説明

(意見なし)

(6) 第3次嵐山町男女共同参画プラン策定に伴うアンケート(案)について

・第3次嵐山町男女共同参画プラン策定に伴うアンケート(案)について事務局より説明

(阿部委員)

・住んでいる地区の質問について、平沢1区と2区などに分かれているところとそうでないところの違いは何か意味があるか。

(事務局)

・嵐山町の北部地区・中央地区・南部地区の区分と市街化区域と市街化調整区域の違いによって区別しています。

(阿部委員)

・2000人の男女比はどれくらいなのか。

(事務局)

・無作為抽出なので、男女の比率は半々くらいにはなると思われます。ただし、嵐山町の男女比と同じになると思うので、若干女性が多くなると思われます。

(松本委員)

・性別の「その他」とは何か。

(事務局)

・心と体が異なる性同一性障害の方がいるという報道がされている。それらの方に配慮し、アンケートに回答しやすいように項目を設定しました。

・平成27年度の人権フェスティバルの際にも、セクシャルマイノリティの方への配慮が必要だという意見ありました。アンケートの性質上、配慮していることがわかってもらえるのではないかと考えています。

(宮本会長代理)

・問2-2の6は、「話し合いで自由な選択ができるほうが良いと思うから」という表現にしたらどうか。

(事務局)

・県の質問項目と同じにしたためこの回答にしましたが、修正します。

(引間委員)

・問2は、内閣府の調査だと「賛成か、反対か」という回答になっている。同意する同意しないという回答は埼玉県調査項目に合わせていると思うが、違和感を覚える。問1の質問の回答は、「やや」「どちらか」というと、段階をつけた評定を作った方が回答しやすい。「なっている」「なっていない」の2択の回答だけにしてしまうと、「わからない」「どちらともいえない」の回答割合が増える。「わからない」という回答をなくした方がいいのではないか。ネガティブな結果が出そうな項目は調整した方がよい。また、問12に、「女性活躍推進法」を加えた方がいいのではないか。埼玉県でも間に合わなかった項目を、ぜひ嵐山町で加えてほしい。

(事務局)

・修正させて頂きます。「女性活躍推進法」を加える場合は、何番に加えたらいいでしょうか。3番でどうでしょうか。

(引間委員)

・法律、条令ときているので3番がいいのではないか。

(須永委員)

<p>(7) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ F 3 の質問項目の 20 代の部分を、学生か社会人かの区別をつける必要があるのではないか。また、レイアウトの話になるが、同じ質問の回答は同じページにあった方がわかりやすく回答がしやすいのではないか。 (事務局) ・ レイアウトについては、ご指摘のとおり修正します。学生が社会人かは F4 の質問で区別できると考えています。 ・ 事務局より委員報酬と費用弁償について説明した。
<p>6 閉 会</p>	<p>(宮本会長代理)</p>
<p style="text-align: center;">上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;">平成 28 年 8 月 10 日 署名委員 <u>藤野 哲男</u></p> <p style="text-align: center;">平成 28 年 8 月 10 日 署名委員 <u>松本 洋治</u></p>	